

令和 3 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 自由民主・市民クラブ

氏 名 山之内 悠

項 目	研修費		
費 目	参加費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	支 出 内 容
11-1	1 / 17	15,000	地方議員研究会セミナー受講代（資料・音声データ代） （主催者、内容等は「活動記録簿」に記載）
11-1	2 / 15	30,000	地方議員研究会セミナー受講代（資料・動画データ代） （主催者、内容等は「活動記録簿」に記載）
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小 計	45,000		備 考
合 計	45,000		

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	参加費	整理番号	11- /
-----	-----	-----	-----	------	-------

領 収 証

2022 年 1 月 17 日

日 當 正 男 様

★

¥15,000

但 1/17 10:00～ 地域公共交通の基礎知識と街づくりへの活用
資料・音声データ代として

上 記 正 に 領 収 いた しま した

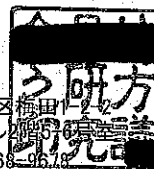
地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階576号室

TEL 050-6868-9678



領 収 証

2022 年 2 月 15 日

日 當 正 男 様

★

¥30,000

但 「地方に人を呼び込め」これからの観光戦略
「地方に人を呼び込め」驚きの人口増加策
資料・動画データ代として

上 記 正 に 領 収 いた しま した

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-2-2

大阪駅前第2ビル2階576号室

TEL 050-6868-9678



第6号様式（第7条、第8条関係）

活 動 記 録 簿

会派・議員名 自由民主・市民クラブ 日當 正男

項 目	研修費			
年 月 日	令和4年1月17日（月） （聴講日：令和4年1月28日）			
場 所	リファレンス新有楽町ビル（東京都千代田区有楽町1-2-1） 但し、コロナの影響で当日不参加の為、送られてきた研修資料及びUSB 音声データーにて自宅に於いて聴講。			
相 手 方	主催：地方議員研究会 大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル2階5-6号室			
参加者氏名	日當 正男			
目的・内容・ 結果等	講師：井原雄人 ・早稲田大学スマート社会技術融合研究機構電動車両研究所客員准教授 ・株式会社早稲田大学アカデミックソリューション統括研究員 内容 ・地方都市と地域公共交通の現状 ・ 地域公共交通のまちづくりに与える効果 (愛知県瀬戸市の取り組み) *詳細は別紙のとおり			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	参加費	セミナー参加費	15,000 円	
			円	
			円	
			円	
			円	
備 考				

概 要

地域公共交通特別講座

「地域公共交通の基礎知識とまちづくりへの活用」

講師：井原雄人

（早稲田大学スマート社会技術融合研究機構 電動車両研究所 研究院客員准教授）

前半 「地方都市と地域公共交通の現状」

- ・ 地方都市の人口動態
- ・ 人口減少と拡散
- ・ 地方公共交通の負のスパイラル
- ・ 公共交通空白地域の拡大
- ・ 地域公共交通の定義（地域公共交通活性化・再生法）
- ・ 地方公共交通に求められる役割と価値
- ・ 高校生のバス通学支援（中津川市）
- ・ 来訪者のための利用案内（京都市）
- ・ 商店との連携によるにぎわいの創出（松本市）
- ・ 徒歩距離・座位時間への影響（群馬県桐生市）
- ・ 立地適正化計画との連携によるコンパクトプラスネットワーク
- ・ 「地域公共交通の選択肢と運行主体」
- ・ 運行主体と道路運送法
- ・ 自家用有償旅客運送の導入の経緯
- ・ 自家用有償旅客運送の現状
- ・ デマンド運行のパターン
- ・ 区域運行の事例（三条市）

後半 「地域公共交通のまちづくりに与える効果 愛知県瀬戸市の取り組み」

- ・ 瀬戸市の地域公共交通の概要
- ・ 菱野団地の概要（人口・高齢化）
- ・ 高齢化の進行により顕在化した移動の課題
- ・ コミュニティ交通導入プロセスと多様な要望
- ・ お買い物という課題へのアプローチ
- ・ 市民ワークショップ（30人）

- ・ 運行協議会・住民説明会（100 人）
- ・ 住民バスの運行ダイヤと走行ルート
- ・ 目的に合わせて柔軟なダイヤ・ルート変更
- ・ 本格運行開始
- ・ 住民バスの成功との相乗効果
- ・ 自家用有償旅客運送への移行
- ・ 巡る交通による地域活性化
- ・ 菱野団地再生検討ワークショップ
- ・ 未来の菱野団地をみんなでつくる会（みんなの会）
- ・ 菱野団地わいわいフェスティバル（300人→2000人）
- ・ 多様な課題と目的の共有による合意形成
- ・ 地域公共交通のトリセツ（取組説明書）はじめました

総括

前半の講義は地域公共交通の基礎的知識であった。

後半の講義はその地域公共交通のまちづくりに与える効果の実例であった。

今回、地域公共交通をテーマに受講したのは、地域公共交通の基礎を学びたかった事と当市における地域公共交通そして地域公共交通で賄えない所を同様にしたら補えるのかの知識習得の為であった。

今回の受講で、少しであるが地域公共交通の基礎が理解できた。

また、中津川市、京都市、松本市、桐生市、三条市、瀬戸市の状況が解った。

特に愛知県瀬戸市の事例は大変参考になった。

地域公共交通はまちづくりの手段であること

交通事業者の内部補助や行政からの赤字補てんだけで維持し続けることが困難となっている事、更に「交通手段」としてだけでなく、地域の資源を組み合わせることで「まちづくりの手段」として取られることの必要性が良く理解できた。

地域公共交通 x 地域資源 = まちづくり

- ・ 日常の通勤、通学、通院は公共交通を使うチャンス
- ・ 来訪者が訪れる観光やイベントなどの非日常の体験も資源
- ・ 環境問題や高齢者のような地域の課題さえも活用

「日常」も「非日常」も「課題」さえも地域資源として活用

今後、当市の課題にも今回の受講を参考にして活かしていきたい。

第6号様式（第7条、第8条関係）

活 動 記 録 簿

会派・議員名 自由民主・市民クラブ 日當 正男

項 目	研修費			
年 月 日	令和4年2月15日（火） （聴講日：令和4年2月25日）			
場 所	リファレンス新有楽町ビル（東京都千代田区有楽町12-1-12-1） 但し、コロナの影響で当日不参加の為、送られてきた研修資料及びUSB 音声データーにて自宅に於いて聴講。			
相 手 方	主催：地方議員研究会 大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル2階5-6号室			
参加者氏名	日當 正男			
目的・内容・ 結果等	講師：村山祥栄 ・大正大学地域構想研究所客員教授 ・前京都市会議員 内容 ・「地方に人を呼び込め」これからの観光戦略 ・「地方に人を呼び込め」驚きの人口増加策 ＊詳細は別紙のとおり			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	参加費	セミナー参加費	30,000 円	
			円	
			円	
			円	
			円	
備 考				

概 要

アフターコロナの議員目線

「地方に人を呼び込め！」これからの観光戦略

「地方に人を呼び込め！」驚きの人口増加策

講師：村山祥栄

(大正大学地域構想研究所客員教授、前京都市会議員)

内 容

☆ 「地方に人を呼び込め！」これからの観光戦略

- ・ あなたの街の有効な観光資源は？
- ・ 最速 ブランディング戦略
- ・ ドバイに学ぶ観光戦略
- ・ 京都の事例と観光政策の考え方
- ・ インバウンドをこの時期から考える

☆ 「地方に人を呼び込め！」驚きの人口増加策

- ・ 地方消滅＝東京一極集中問題
- ・ 人口減少に負けない人口戦略
- ・ 都市間競争と地方創生
- ・ 都市特性を生かした誘致戦略～明石の事例から
- ・ 流山市のシティプロモーション戦略

総 括

「地方に人を呼び込め これからの観光戦略」

のキーワードは 観光とは/観光といえばF r a n c e /なぜ人はパリへ向かうのか？/憧れ/京都の観光戦略の前に/最速のブランディング戦略入門1/最速のブランディング戦略入門2/最速のブランディング戦略入門3/ドバイに学ぶ観光戦略/観光開発/欧州をターゲットにした戦略/世界NO1戦略/世界最大の人工島「パームジュメイラ」/「ザ・ワールド」世界地図の形の人工の島々/高級ホテルライフの提供/買い物天国ドバイ/国際的なイベントの開催/あきらめたら、それまでです。優秀なリーダーで街は再生できるのです/観光消費額/宿泊客数/外国人宿泊客数/修学旅行生/京都観光の現状/京都市への訪問動機/これ

までの京都市の観光政策/近年の京都市の観光施策の変遷/観光消費額の単価/
3つの集中の是正/魅力の向上/京都らしい景観の保全・継承等/そんな観光最先
端都市に忍び寄る新たな影 「バルセロナの悪夢」/京都市の観光を取り巻く課
題/外国人観光客の急増等による京都観光の課題～市民生活の影響等～/「場所
の分散」の取り組み/混雑の解消に向けて/宿泊税の導入について/良質な宿泊施
設の拡充と民泊適正化/「民泊」～市民生活の安心・安全と宿泊事業、観光客の
安全を両立/外国人観光客へのマナー啓発/もうひとつの観光戦略 藻谷浩介概
論/「戦略」即ち、捨てる集中すること/なぜ地方での商売は儲からないのか/地
域の付加価値額増加の5段階/地域と地域企業が今後とも続いていくための道/
お金の使い方次第で地域が変わる/地産地消でなくて地消地産/今後の観光戦略
/インバウンド戦略/パリに見るインバウンド基礎対策/店舗向け外国人マニユ
アル/京都でのインバウンド対策/福山アンバサダー/富裕層誘致戦略/富裕層対
策 過度の要求に耐えろ/富裕層を取り込めるホテル群/富裕層にとって特別な
体験を/ムスリム対策/世界中、中東富裕層を狙い撃ち/日本にチャンスはあるか
/ムスリム誘客 対策と傾向/MICE戦略/10分でわかる最速MICE戦略/特
別感ってのが大切/戦略1 ユニークベニュー/日本のよさが凝縮/戦略2 温
泉MICEという新発想/戦略3 取捨選択で攻める小型国際会議特化/MICE
戦略のポイント/新たな観光戦略「アニメツーリズム」/映画「君の名は。」効
果で観光客が増加(岐阜県飛騨市)/沼津市×ラブライブ!サンシャイン!!/熊本
を舞台にした自治体初のテレビアニメ(熊本県)/京都のアニメツーリズム/ラ
イセンスビジネスの課題/自治体主催コンテストの開催/オーバーツーリズムは
ブランド破壊

この講義では、生き残るためには、チャンピオンになれる事業、勝てる事業機
能は何か、常に自問自答すること。チャンピオンになれるものはやめ、なれ
そうなものに大胆に経営資源を投入する。社会とどのように調和していくか、
調和するためにどこに経営資源を投入するか。それを見極め、実践できれば必
ず生き残る。と結論付けている。

「地方に人を呼び込め 驚きの人口増加策」

のキーワードは アフターコロナのポイント/予測力/スピード感/政治に求め
られる形が変化/人口減少に負けない 定住人口増加戦略/地方消滅＝東京一極
集中問題/東京への対抗軸を作れるか/企業の地方移転の機運が高まる/5年推移
でみると人口増加都市は全国にある/都心部、都市近郊に人口増加都市が集中/
政令市ですら人口流出都市が増加/都市間競争と地方創生/自然減は基本的に止
まらない/次世代の地方自治キーワード 「足での投票」/自治体を比較する時
代 生活ガイド.com/人口問題の大原則 働く所がないと人は出ていく/職住

近接型「働く場所をつくる」には 企業誘致を基軸にした都市の再生/戦略1
大学を基軸にした企業集積を/ハイテクシティ、シアトル市の復権/G大学があれば、それを基軸に企業集積が可能/高度人材輩出基地を！目指せ ユニコーン
輩出/向日市 日本電産の城下町へ/企業誘致の留意点/知っておくべき地方創
生策 企業誘致 地方拠点強化税制/移転型事業とは/拡充型事業とは/どのよ
うな優遇措置があるのか/優遇措置のメリットは/もうひとつの企業誘致戦略
デジタル時代の成長に根ざした企業誘致/デジタル社会の「もうひとつのキー
ファクター」 物流/工場誘致でなく物流拠点誘致/デジタル社会の「もうひとつ
のキーファクター」 DC/工場誘致でなく データーセンター（DC）誘致/
スペインの自立した地方/里山資本主義的視点で、地域経済循環システムが構築
できるかどうか/DCは再生可能エネルギーと相性抜群/ベットタウンとして生
きる 都市特性を生かした人口誘致戦略 ブランディングとシティセールスに
よる都市再生/戦略2 都市特性を生かした誘致戦略/明石市子育て世帯誘致戦
略/凄すぎる明石市のコロナ支援策/本当に困っている層にこそ手を差し伸べる
べき/一人親に徹底的に寄り添う姿勢/明石市シティプロモーション 周辺から
人を集める施策に重点/要はやる気/神戸市子育て支援住み替え助成事業/戦略
2 都市特性を生かした誘致戦略 流山市シティプロモーション戦略/マーケ
ティング課を設置、シティセールスプランを策定/都心から一番近い森のまち/
母になるなら、流山市/子育ての街に特化/「流山市ブランド」構築のため、シ
ティセールス活動の外郭で、今後も首都圏の主要駅、駅貼りポスターや電車内
額面に広告出稿を/特性を生かしたブランド化できるかどうか/子育て世帯に選
ばれる街になるための3つの柱/流山市シティプロモーション戦略/直近3年連
続人口増加都市の取り組み/人口増加に最も効果的なのは 開発/開発は劇薬だ
ということも知っておかなければならない/都市部の開発戦略/住みたい街 武
蔵小杉の成功と苦悩/タワマン乱立の要因分析/市街地再開発事業の概要/懸念
リスク、将来リスクは高いが、人口流入の可能性は高く、都市部の再開発の手
法としては効果的であることも事実/都市再生緊急整備地域/開発と人口争奪戦
とスプロール/近年の都市計画の流れ/和歌山市の事例/立地適正化計画（コンパ
クトシティ）/コンパクトシティ富山/優等生といえど苦悩はつづくばかり/老朽
化ニュータウン再生問題/成長管理型の街・ユウカリが丘/将来も発展し続ける
街を作る

この講義では、開発は非常に強い武器だが、使い方は非常に難しい。ただ、町
の未来予想図作りには外せない重要なファクターである。

人口を増やすことはできる、東京一極集中、地方一極集中に負けない。まずは、
自治体の特性分析をし、そして戦略的プロモーションを。住まいを制するもの
は人口獲得に勝！と結論付けている。

これらの講義を通じて特にコロナ支援についていえば、何においてもスピード最優先。困っている市民にこそ寄り添い、感染対策と両立しながら経済対策をする。そして最後にお金を何とかするという考えが大事。いわゆるバラマキでなく、狙いを定めて政策を2つに分けて行う。子育て支援については基本的に無料化する負担軽減策、もう一つは明日のお金が必要なというような、本当に困っている方々には限定的に給付することが大事であることが理解できた。

なにはともあれ、この2つの講義を通じて、観光戦略と子供に対する政策が人口減少対策には欠かせないことが分かった。

大変有意義な内容であった。

このことを今後の議会活動に生かしていきたい。